

子育て真っ最中 暮らしを守る 地域を支える

ご挨拶

物価高で暮らしが苦しいとき、宇治市がもっと必死になって市民生活を支えないといけません。無駄な大型開発はやめて、公共料金の引き下げや、学校給食費の無償化など、暮らしを応援する市政の実現に全力で頑張ります。

日本共産党

市会候補

大軍拡ストップ

大河直幸

おおかわ
なおゆき

お約束

- 水道料金の減免など公共料金の引き下げ。
- 中学校給食の早急な実施。
- 学校給食費を無料に。
- 水害対策、道路整備など防災対策の強化。
- 子どもの医療費を高校卒業まで無料化。
- 国保料を引き下げ医療と介護の負担軽減。
- 住宅リフォーム助成制度の創設。
- 公共交通を充実し、市民の移動手段を確保。歩いて買い物できる街の実現。買い物弱者支援。

【現在】市議(2期)、産業・人権環境常任委員会委員長、議会運営委員、大久保区長、西大久保小学校育友会長。
【略歴】1979年生まれ。立命館大学法学部卒業。京建労などに勤務。宇治市の中学校給食の実現をめざす会事務局長、くりくま保育園保護者会長など歴任。

大河直幸選挙事務所 宇治市大久保町旦椋19-91 TEL.0774-45-2031

頒布責任者/石川和司 宇治市宇治里尻17 印刷所/(有)ニュープリント 京都市右京区西京極堤下町12-2

証紙

『水道料金減免の延長』『介護料金など負担軽減』

『18歳までの医療費・給食費の無料化』を

大軍拡より平和・命・暮らし 物価高対策、賃金・年金の引き上げ あなたの願いを日本共産党へ!

岸田政権は、「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有するために、5年間で43兆円に軍事費を増やす大軍拡に突き進んでいます。その財源は、増税や借金、暮らし予算の削減で確保するとしています。

党をつくって101年、反戦平和をつらぬいてきた日本共産党は、自民・公明・維新が進める大軍拡をストップするため全力をあげます。大軍拡よりも暮らしと営業を守り、住民の福祉を良くする自治体本来の仕事をすすめます。

選択の基準
ハッキリ

太閤堤跡の歴史公園は5000万円赤字 北陸新幹線「京都延伸」に2兆円以上

80億円規模の歴史公園事業は、2021年10月オープンからの半年間で約5,000万円の赤字。ミュージアムの入館者数は、見込みに対して14%の8083人（無料入館者含む）でした。

日本共産党は、予算削除を3度提出。契約にも反対。しかし、最終的にオール与党が予算と契約に賛成し押し進められました。

自民・公明が強引に決定した北陸新幹線の京都地下延伸を維新も一緒に推進。

日本共産党は、過大な税金投入と環境破壊の計画の中止を求めてきました。住民の運動とも連携し、当初の2023年度春の着工を許していません。

開発優先のオール与党か、市政をチェックし、税金のムダ使いを許さない日本共産党か。選択の基準がハッキリしてきました。

宇治市議会での態度は

日本共産党
暮らし応援のため財源も示し具体的提案

日本共産党		自民、公明、維新・宇治党、うじ未来（立憲・国民など）	
条例案・修正案	水道料金の減免（減額）を半年間に延長〔23年3月〕	市の財政調整基金33億円から2億円活用	
	子どもの医療費18歳まで無料に〔23年3月〕	府の制度拡充による市の負担軽減分6千万円などを活用	
	国保料の1世帯1万円値下げ18歳までの国保料無料に〔23年3月〕	取り止めた繰入金2億円、約8億円の基金を活用	
意見書案	インボイス制度の実施中止を求める〔23年3月〕	× 理由も述べず 全てに反対 市民の暮らし応援の願いに背を向ける	
	統一協会の疑惑究明と被害者救済を求める〔22年9月、12月〕		国会・政府に対して、宇治市議会として意見を提出するため提案
	物価高騰に対して、消費税5%への緊急減税及び、賃金、年金の引き上げを求める〔22年9月〕		

歴史公園など大型開発に税金を注ぎ込む 自民 公明 維新 などのオール与党議員か
物価高騰対策、暮らし・子育て・福祉などの願い実現の 日本共産党議員か